

「ムラド」武道空手に有り!

第45回 全国空手道選手権大会

2002年 6月29日(土)～30日(日) 東京体育館・日本武道館

JKA第2の発展期を告げる「最大」の陣容で

日本を代表する「最強」の選手達が「最高」の技と闘魂でビッグファイト

「個人戦・男子・組手」
小林が4年ぶり2度目の優勝で最強の座に

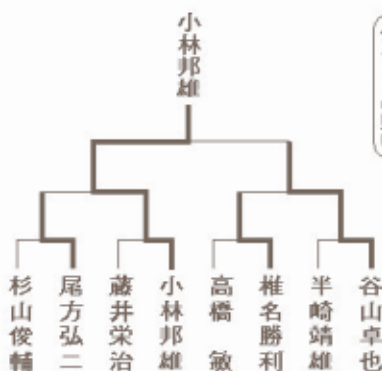


▲男子組手・決勝戦

例年にもまして接戦・激戦が続いた。

前年王者谷山は、準々決勝で半崎靖雄(本部推薦)と対戦、上段突き2本で一本勝ちし準決勝へ進出。準決勝では高橋 敏を再試合の末、上段突き技ありで下した椎名と対戦、椎名は過去組手3度優勝の強豪だ。手の内を知り尽くした両者、め技ありを連取。日本最強戦の勝利者となった。

ベスト8の戦い



インタビュー

小林邦雄選手



「今回の大会は、一戦一戦集中できた事が優勝につながったと思います。稽古の時からメンタルな部分と体力的な部分のバランスを考え、自然体で自分の技が出せるように心がけました」

「個人戦・男子・形」
谷山が3度目の優勝で王者に

椎名の連覇が成るかどうかに関心が集まった男子の形試合は、緊張感あふれる雰囲気の中で開始された。決勝進出の8人はいずれも強豪者ばかり。会場の大歓声を浴びた42点台の3人が他を制した。斎藤(雲手41.5)、寺島(壮鎮41.2)、尾方(雲手40.5)と続き……小林が「五十四歩小」で42.1を出して大歓声。高橋(二十四歩41.8)、中(二十四歩41.6)が終えて、残るはあと2人。まず椎名が力感のある「十手」で大歓声の42.6。連覇成るかと思われたが、谷山が42.8の「壮鎮」で大々歓声のフィニッシュ102ポイントの微差で優勝をつかんだ。

優勝 谷山卓也(指定)
準優勝 椎名勝利(指定)
第3位 小林邦雄(指定)



▲谷山卓也・壮鎮



▲椎名勝利・十手

小林邦雄
五十四歩小

- 谷山卓也(形優勝・組手準優勝)が大会史上初の4連覇で総合優勝!
- 女子の総合優勝は平山裕子(組手優勝・形準優勝)に輝く!
- 小林邦雄が組手を制して最強の座を奪還!
- 形の女王・中田輝美が3連覇達成!

▲総合優勝の谷山卓也選手



▲女子の総合優勝平山裕子選手



決勝開始前のインターバルタイムに、少年演武、大学優勝チーム&師範会の形の演武が披露されたあと……メインコートは待ちに待った決戦の時をむかえた。

▼少年演武（廻し蹴り）



▲師範会（抜塞大）

「個人戦・女子・組手」 平山裕子が初優勝に輝く

準決勝で実績のある奥家を下した平山、実力者同志の対決で水野を破った伊藤。女子組手の頂上決戦は、どちらが勝っても初優勝となる顔合わせとなった。

決勝戦は、平山が素早く上段の突きを決めて先制。そして……伊藤の蹴りをかわしながらの上段の突きで、技有りを連取。平山がまたたく間に優勝を決めて、新しい女王の座についた。



▲女子組手・決勝戦



▲平山裕子選手

「ひとつひとつ、着実にこなしていったのが……優勝に結びつきました」

優勝 平山裕子（本部推薦）
準優勝 伊藤愛華（指定）
第3位 奥家沙都美（指定）
水野庸子（指定）

「個人戦・女子・形」 中田輝美がついに3連覇

中田の3連覇と平山の初優勝の行方が注目された女子決勝は、審判の掲げる得点がそのまま歓声に反響する、大観衆の声援に包まれた白熱戦となった。

鈴木（壮領402）、大島瞳（壮領407）、早川（五十四歩小412）、大島薫（雲手408）、末次（五十四歩小409）に続いて……いよいよ中田が登場。切れの良い存在感のある「五十四歩小」に42が出ると、会場がドーッと沸き上がった。次の大島望の「岩鶴」は見事な出来だったが416で及ばず。試合に決着をつける平山の「抜塞小」も417で惜しくも届かず。04ポイントの差で中田の優勝が決まった。

優勝 中田輝美（指定）
準優勝 平山裕子（指定）
第3位 大島望（京都）



▲中田輝美選手

1 日 目 ・ 東 京 体 育 館



▲高校組手優勝・片桐選手

JKAのさらなる発展への大きな節目となる第45回大会の前半戦は、空手道ファンの期待を集めた東京体育館で熱戦の火ぶたが切られた。審判長の「正々堂々と試合をしてほしい」との注意を受けて、8つのコートで試合開始。団体戦では形の決勝戦と組手の準決勝まで、個人戦では高校男女の形と組手の決勝戦が行われた。そして全試合終了後の高校生表彰式で、新チャンピオンの手に優勝杯が渡された。



団体戦・形の部は……駒澤大学が男女アベック優勝。

一般・都道府県はともに千葉県勢が制覇。おかやま山陽高校が連勝記録を伸ばす。

個人戦・高校の部はいずれも初優勝。

男子は……組手・片桐一樹／形・喜久田曉一。

女子は……組手・北原 永／形・ウォーカーハウス美希。

【団体戦・女子・形】

駒澤大学が2連覇

練習量が豊富な学生陣が勝ち残る展開となり、当日の気合いの差が得点に表れたが、駒澤大学の「雲手」が伝統の精神力とチームワークで他を押し切った。

優勝 駒澤大学

準優勝 青山学院大学

第3位 國士館大学

▼駒澤大学
女子チーム

若尾 息吹

(1年)

久保ひと美

(2年)

上原 麻美

(2年)



【団体戦・一般・形】

孝士館(千葉)が初優勝

ベスト8の形試合は熱戦の技の競い合いとなったが、その迫力で観客へのアピール度が抜群だった孝士館が「五十四歩小」で優勝に輝いた。

優勝 孝士館

(千葉)

準優勝 石巻大翔会

(宮城)

第3位 鳴空会

(大正大OB会)

▼孝士館チーム

産方剛志(弟)

岸 大祐

産方弘二(兄)



【団体戦・都道府県・形】

千葉県が接戦を勝ち抜いて連続優勝

Aブロックからは、神奈川・千葉・茨城・静岡。Bブロックからは、滋賀・北海道・京都・福井の8チームが順位決定戦に進出。96点台の紙一重の接戦となったが、千葉県の「雲手」がコンマ1ポイントの僅差で優勝。

優勝 千葉県

(雲手 36.4)

準優勝 滋賀県

(壮鎮 36.3)

第3位 茨城県

(雲手 36.2)

▼千葉チーム

産方弘二

大石勝美

八十岡篤



協会の型を完全網羅！

空手道型教本

絶賛発売中

第1巻	平安初段・式段・参段・四段・五段、鉄騎初段	2000円(税込)
第2巻	抜塞(大)、観空(大)、慈恩、燕飛	3000円(税込)
第3巻	岩鶴、十手、半月、鉄騎式段・参段	3000円(税込)
第4巻	抜塞(小)、観空(小)、壮鎮、二十四歩、雲手	3000円(税込)
第5巻	王冠、五十四歩(大)、五十四歩(小)、明鏡、珍手	3000円(税込)

発行●日本空手協会・師範会 03(5800)3091

(社)日本空手協会指定 審判用スラックス



フータック ポリエステル100%
ウエスト73～88cm
¥7100(税込)
ウエスト91～110cm
¥7400(税込)

〈サイズは3cm刻み、裾上げはご自身でお願ひします〉

送料(1～9本) ¥800
10本以上無料

問い合わせ先 (株)東海堂 03-3262-0281

【団体戦・大学・形】

駒澤大学が11年連続29度目のV達成

打倒駒澤を目指す各大学のチャレンジマッチとなったが、今年もあと一歩およばず……自慢に満ちたメリハリの効いた「素手」で、駒澤大学が王座を守った。

優勝 駒澤大学

準優勝 千葉工業大学

第3位 大正大学

▼駒澤大学男子チーム

高柳雄路（1年）
安藤郁真（1年）
後藤秀樹（1年）

【団体戦・高校男子・形】

おかやま山陽高校が4連覇

この種目が登場した第42回大会（平成11年）から連続優勝のデیفエンディング・チャンピオン、山陽高校に対する各校の挑戦振りが注目されたが……その堅壁を攻め落とすことは出来なかった。山陽高校は「慈恵」で4連覇を飾り、部の伝統に新しい栄光を積み重ねた。

優勝 おかやま山陽高校

(岡山)

準優勝 東北学院高校

(宮城)

第3位 駿河支部 静岡

▼おかやま山陽高校チーム

村上達哉（2年）

津崎拓実（2年）

信定勇志（3年）



【個人戦・高校女子・形】

ウォーターハウス姉妹で見事にワンツー・フィニッシュ

中学時代の活躍が光った、ウォーターハウス姉妹の戦い振りに関心が集まったが、高校生になってもその実力は健在。姉の美希選手が「岩鶴(369)」で見事優勝。亜耶選手が準優勝で、ツイン(双子)パワーを存分に発揮した。

優勝 ウォーターハウス・美希（兵庫）

準優勝 ウォーターハウス・亜耶（兵庫）

第3位 福田恵華（岡山）

▲優勝した
美希選手

【個人戦・高校男子・形】

おかやま山陽高校が4連覇

喜久田（福岡）が形の部を制す順位決定戦に勝ち上がったのは、新山（宮城）、馬淵（静岡）、城田（山梨）、奥沙（大分）、喜久田（福岡）、梓田（福岡）、平野（千葉）、信定（岡山）の8人。九州勢の健闘が目立ったが、試合の経験が豊富な喜久田が「燕飛(36)」で優勝に輝き、前年度九州地区大会優勝の奥沙は3位にとどまった。

優勝 喜久田 一（福岡）

準優勝 新山 真偉（宮城）

第3位 奥沙 和記（大分）

▼優勝した喜久田選手



【個人戦・高校女子・組手】

北原 永（長野）が初優勝

ベスト4の3人が長野県という展開となり、同県対決で犬飼を破った北原と長野勢の一角（西澤）を崩した大山との決戦となった。互いに譲らぬガチンコ勝負となつて再試合にもつれこんだが……北原が上段突き・中段突きと連続で技ありをとつて決着がつき、高校最後のチャンス（松本第一高校3年）で優勝をもぎ取った。

優勝 北原 永（長野）

準優勝 大山 優衣（北海道）

第3位 犬飼 友里（長野）

西澤 由香（長野）

▼優勝した北原選手



【個人戦・高校男子・組手】

片桐（静岡）が組手の部を制す

高校男子の組手は、毎回だれが勝ち上がるか全く予測のつかない熱戦が続くので、今年も「二戦」戦に目を離せない試合展開となった。片桐 vs 伊藤の決勝戦は……まず片桐が突きを決めて技ありをとつたが、すぐに伊藤が突きで返して片桐に警告！というファイトが激突する勝負展開。最後は、片桐の上段突きを伊藤が抱え込んで投げ倒してしまうという結果となつて反則失格。浜松開誠館高校の片桐選手（2年）が激しいサバイバル戦の勝者となった。

優勝 片桐 一樹（静岡）

準優勝 伊藤 正太（宮城）

第3位 加藤 知拓（岡山）

鈴木 聡也（静岡）

▼優勝した片桐選手



形態安定空手衣 NST

軽くて縮まない空手着"NST"。一流選手をサポートするブランドです。

インターネットで
気軽にEメール
でご注文を!!

www.toukaido.co.jp

Eメールアドレス toukaido@par.odn.ne.jp



お申し込み・
お問い合わせ

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-12-14 麹町KYビル6F
TEL/03-3262-0281 (代表) FAX/03-3234-9387

空手衣の

東海堂

2 日 目 ・ 日 本 武 道 館

選手役員1000名が堂々の入場
行進日本最強を目指す頂上決戦を
展開



▲選手宣誓・斎藤祐樹選手

大鼓の音を
合図にライト
アップされた
日本武道館を
晴れ舞台に、
いよいよ日本
最強を決める
戦いの幕が上
がった。防衛
大フライング隊
に先導された
入場行進は、
まさに日本最
大の証明。中原伸之大会会長が挨拶の中で述
べられた「武道空手の真髄」を發揮せんと、
「1つの突き1つの蹴りを極める」戦いが繰
り広げられた。

【団体戦・高校・組手】
浜松開誠館高校（静岡）が初優勝

準決勝で山陽高校（岡山）が破れて3連覇の期待が消え、新高校チャンプの座をかける山形 vs 静岡の対決となった。浜松開誠館は個人戦優勝の片桐を欠いた布陣となったが、個人戦3位の鈴木が先鋒戦で先手をとり、二番手の田地川も連取して中堅戦で決着をつけた。これで今年の高校組手は、浜松開誠館の「個人団体ダブル制覇」という結果でユースの熱戦を締めくくった。

優勝 浜松開誠館高校（静岡）
準優勝 山形県本部（山形）
第3位 おかやま
山陽高校（岡山）

▼浜松開誠館高校

高校チーム
鈴木聡壘
藤村知弘
田地川剛佑



▲高校団体組手・決勝戦

【団体戦・都道府県・組手】
神奈川県が初優勝

ベスト4の中から、神奈川県が千葉を下し大阪が埼玉に勝って抜け出し、決勝戦での対決となった。先鋒戦の武田（神奈川県）vs 上田（大阪）は、互いに決め手を欠いて引分け。次鋒戦では榎原（神奈川県）の不戦勝となったが、中堅戦で松浦（大阪）が1勝をあげ、マッチャイブンの混戦模様で試合は副将戦へと進み、神倉（神奈川県）が勝って王手をかけた。勝負は大将戦に持ち込まれたが、引分けでも優勝となる神奈川県が心理的には有利。瀬戸（神奈川県）がまず中段突で技有りをとったが、榎本（大阪）がすぐに技有りをとり返し、蹴りで仕掛けてあと1本を狙ったが……時間切れで引分け。2勝1敗2分、で、神奈川県が初の優勝を手中にした。

優勝 神奈川県
準優勝 大阪府
第3位 埼玉県

▼神奈川県チーム

瀬戸 秀朗
中野 和仁
神倉 寛明
榎原 和男
青木 悠輔
山崎 力監督



KARATE VIDEO ON SELL

CHAMP URL: www.karatado.co.jp/champ

第45回 VIDEO 7月20日発売

商品番号 CMP-818 | 価格4,800円 | カラー60分

全国空手道選手権大会

日時：平成14年8月29日（土）・30日（日） 場所：東京体育館・日本武道館

本部会により発売日が遅れる場合がございます。

第38回松涛杯全日本空手道選手権大会

商品番号 CMP-863 | 価格8,000円 | 黒・白 90分

好評発売中

第1～2回、第5～7回松涛杯全日本空手道選手権大会ビデオ

第44回JKA全国空手道選手権大会

商品番号 CMP-817 | 価格8,000円 | 黒・白 120分

好評発売中

第24～25回、第28～43回JKA全国空手道選手権大会ビデオ



船越鶴彦正統正伝 前編（上）日本空手協会 主催 船越 中山正雄

松涛館十五の形

各8,000円 収録時間 各30分

Vol.8/巻数（販売順）

Vol.1	Vol.2	Vol.3	Vol.4	Vol.5	Vol.6	Vol.7	Vol.8	Vol.9	Vol.10
CMP-861	CMP-862	CMP-863	CMP-864	CMP-865	CMP-866	CMP-867	CMP-868	CMP-869	CMP-870
平安	平安・鉄脚	鉄脚	抜薙	観空	十手	半月	燕飛	慈恩	社鎮
(白～黒)	(白～黒)	(白～黒)	(白～黒)	(白～黒)	(白～黒)	(白～黒)	(白～黒)	(白～黒)	(白～黒)

松涛館選定形

各8,000円 収録時間 各25分

Vol.1	Vol.2
CMP-871	CMP-872
社鎮	雲手

資料ハガキでご注文の場合

〒166-0003
東京都杉並区
高井戸4-18-3
電話 03-3315-3190
FAX 03-3312-8207
TEL 03-3315-3190

● 振替口座
● 氏名フリガナ
● 住所
● 年齢
● 性別
● 電話番号

電話でのご注文の場合（受付：AM9:30～PM8:30）

03-3315-3190
（日曜・祝日を除く）

FAXでのご注文の場合（24時間受付中）

03-3312-8207
FAXは24時間受付しています。ご希望の商品名・商品番号、ご氏名、ご住所、生年月日、電話番号を明記の上、FAXして下さい。

商品のお受取り・お支払い方法

ハガキ、電話受付後、1週間後まで商品をお届けします。お支払いは、商品お受取り後、7日以内に同封の振込用紙でお近くの郵便局からお支払い下さい。送料サービス・消費税別。

【団体戦・女子・組手】

駒澤大学が3連覇を成し遂げる

これで3年連続、またも駒澤大学が國士館の宿命の対決となった決勝戦。國士館（益子）が、幸先よくまず1勝。しかし中堅戦では駒澤（水野）がふんばって1勝1敗となり、勝負は大將戦に持ち込まれた。

いきなり袴澤（國士館）が上段突きで技有りをとって、優勝にリーチをかけたが……奥家（駒澤）が渾身の中段突きで技有りを連取して、2勝1敗で決着。今年も、勝利の女神は駒澤大学に味方した。

優勝

駒澤大学

準優勝

國士館大学

第3位

大正大学

▼駒澤大学
女子チーム

永松久仁子

水野庸子

奥家沙都美



【団体戦・大学・組手】

大正大学が9度目の優勝を飾る

大学の決勝戦は、昨年4連覇を阻まれた駒澤大と準優勝に甘んじた大正大との、互いに雪辱をかけた大接戦となった。試合を先制したのは大正大。先鋒（田辺）と次鋒（関口）が

2勝をあげて有位に。これで、駒澤大はもう負けられない。中堅（橋本）と副将（栗原）が連勝して2勝2敗に持ち込み、優勝の行方は大將戦にかかった。

まず大正大（斎藤）が上段突きで技有りをゲット。すかさず駒澤大（猪越）が中段の突きでお返し。いよいよ最後の瞬間に観衆の視線が集まって……両者の鋭い突きがクロスした。一瞬相打ちか？と思ったが、協議の結果猪越の「体勢不十分」で主審の手は斎藤に上がり、大正大のうれしい優勝となった。

優勝 大正大学

駒澤大学

第3位 國士館大学

▼大正大学
チーム

斎藤庸平

内海 健

田辺良元

関口庸平

山本雅也



▲大学団体組手・決勝戦

【団体戦・一般・組手】

渋谷空友館（群馬）が初優勝

準決勝とともに死闘をくりひろげた渋谷空友館（対孝士館A戦）と孝士館B（対石巻大翔会戦）が決勝に進出。先鋒戦で渋谷（後藤）、中堅戦で孝士館（産方）がとって大將戦での勝負となったが……角田が技有り2本合わせとって、渋谷空友館が初の優勝となった。

優勝 渋谷空友館（群馬）

孝士館B（千葉）

第3位 孝士館A（千葉）

▼渋谷空友館
チーム

角田義和

飯塚能敏

後藤秀樹



▲一般団体組手・決勝戦

国土交通大臣登録旅行業第361号／日本旅行業協会正会員

株式会社 旅行開発センター

代表取締役 小林 昇（師範会会員）

〒104-0061 東京都中央区銀座1-16-7 友泉銀座ビル11階

TEL. 03-5159-1080 FAX. 03-5159-1090

担当：三浦・安部

はじめまして。

身体障害者玉津空手愛好会 師範
明石ベンクトラフ会員
兵庫県立総合リハビリテーションセンター
リハビリ研修課 課長補佐

石井 啓友

はじめまして。日本空手協会兵庫県本部に所属する石井といいます。昨年3段をいただきました。私は生後1年の時の病気の後遺症で右腕が全く動きません。

千葉の淑徳大学で空手をはじめ、兵庫に帰ってやと初段になって、次の年、兵庫県大会で準優勝をしました。

当時就職がなかなか決まらず、苦しんでいた中、空手で初段になったこと、県大会で準優勝できたことがどんなに支えになったことか。

当時全国大会で活躍されていた植木先生の蹴りに憧れて、部屋の中でも、歩いていても、回し蹴りをしていような危ない若者でした。

現在の職場に就職できて、障害者に空手を広めたいと重い、兵庫県本部、特に稲美松涛館の藤田先生の全面的なバックアップをいただき、「身体障害者玉津空手愛好会」を設立しました。本年で25周年を迎えます。

現在は知的障害者の部員が多く、身体障害者というクラブ名を変更しなければいけないかと思っています。

もう49才になりましたし、だいぶ身体にもガタがきていますが、それでも空手が好きで、週1回の「身空会」の稽古には出ています。

学生時代の師範、千葉仁戸名支部

の正木先生、稲美松涛館の藤田先生はじめ、協会の先生方には本当にお世話になりました。数年前から趣味で文筆活動をはじめ、地元の神戸新聞・PHPなどに空手のことを中心に書いています。他にも協会の名前を出している文章もあるのでありますが今はPHPをお送りします。

(中略)

私自身も、当時サリドマイドの障害の、両腕のない方が協会本部で黒帯になったことをテレビで知って非常に勇気づけられました。

今の私でできることであれば、協会への恩返しのためになんでもやらせていただきます。

今後ともよろしくお願いします。

押忍



読者手記特集 わがスポーツ感動記

空手が教えてくれたこと

(兵庫県明石市・社会福祉事業団職員・48歳)

石井 啓友

昭和53年度、日本空手協会兵庫県大会「形(かた)」の部 決勝。

「次、石井初段」

「はい、形、(燕飛(えんぴ))」
演武する「形」の名称を告げる。さすがに「形」の試合決勝。観客席のざわめきは小さまり、一挙に水をうったように森閑(しんかん)となった。

組手試合のような声援や、それにもなう観客の動きもない。観客、選手、大会関係者全員が「形の部」の決勝進出者の動きに注目している。演武者がほんの少しバランスを崩しても、「ああ」と小さくため息が出るというところは、ほとんどの選手が失敗しないということだ。

大会は一部と二部に分かれていて、私の出場した一部の出場資格は、初段(黒帯)以上。二段、三段の人もある。黒帯の中でも「形」の得意な人は技が正確だ。失敗しないだけで決勝までは残れない。「力の強弱」「体の伸縮」「技の緩急」これを「形」の三要諦(ようたい)と言いが、この三つのうち一つが欠けても、また三つのバランスが崩れてもだめなのである。

私の得意形は「燕飛」。字のごとく、ツバメが飛ぶように俊敏に身を伏せ、次の瞬間には大きく跳躍するなど、身軽で敏捷(びんしょう)な選手に向けた「形」だ。最初の一挙動、いきなり右腕の受けが二つ続く。私は動かない右腕のかわりに左腕と右足でその動きを行なう。有段者の選手たちや、もちろん審判の先生たちは、私の「形」をよく知っているから鋭い眼で評価している。

大会の手伝いをしていての初心者クラスの選手たち、あるいは観客の多くは、私のオリジナルの、左腕だけの「燕飛」を見るのは初めてだろう。「オオッ」とびっくりしたような声が聞こえる。

途中の跳躍技でもざわめきが聞こえる。右腕を帯に挟んで、なんでもあの動きができるのかということだろうか。その声も最後の技、左手刀中段受けが終わった時には拍手に変わっていた。

半年前に車に乗っていて、後ろから追突され、まだムチウチ症状が残っていた。でも念願の初段を取ったのが8カ月前、ぜひとも県大会には黒帯を締めて出場したかった。

った。あまりハードな稽古(けいこ)はできなかったが、大会当日にはベスト・コンディションに仕上げた。

私の形演武が終わった。

「得点」の音が聞こえると審判7名が得点板を上げる。なんとそれまで演武の終わった何名かの選手のなかで最高得点だ。その後に演武したT先輩には及ばなかったが、兵庫県大会準優勝。身体障害者の私が健常者の大会で2位になってしまった。

千葉の淑徳大学入学と同時に空手部に入り、事情があつてアルバイトで生活し、なんとか大学は続けた。空手も続けた。

でも部員が稽古する午後の4時や5時はアルバイトの時間だ。私は大学の師範であるM先生に頼んで、先生の所属するK製鉄の空手部に通わせてもらった。実業団の部員と一緒に夜の7時頃から稽古をして、十時頃にアパートに帰る。そんな生活が3年続いた。

「左腕だけで空手をする」とそのものが無理だ」という声もあった。

でもM先生も、卒業して兵庫に帰ってから師事したF先生も、一度もそんなことは言わなかった。かえって手のかかる弟子の誕生を喜ぶように教えてくれた。日本空手協会も、強くなりたいたい者には門戸を開放して、健常者と全く同じ基準で審査してくれた。障害があるからといって特別な配慮はしない。ただし強くなれば健常者であろうと障害者であろうと、「強い者」として認めてくれた。妙な配慮やてかげんをされていたら、私は逆に日本空手協会を脱退しただろう。

平等に、全面的に受け入れてもらって、私は生まれて初めて障害を気にしなくなった。アルバイトで何度クビになっても、空手の世界だけは自分を受け入れてくれる。そのことが嬉(うれ)しかった。

兵庫県大会準優勝はもちろん嬉しかったが、本当に嬉しかったのは結果ではなく、平等に受け入れてくれる人がいる、受け入れてくれる組織があると知ったことだった。

そのことが私に空手を続けさせてくれた。人を信じることを教えてくれた。

(PHP 2001年9月号より)

史料 ②

年譜 (その一)

一般史料は不昧堂書店発行、今村嘉雄編、
体育史資料年表と岩波書店発行、歴史学研究会編、日本史年表に拠った。

1872	1871	1870	1868	1854	1853	1830	1827	西暦	和暦	月/日	一般史料	安里安恒	糸洲安恒	富名腰義珍
明治5	明治4	明治3	明治元	安政元	嘉永6	天保元	文政10							
9/14	11/7 7/18 7/14 4/4		1/3	6/17	6/24									
琉球正使尚健、参朝、国王尚泰を琉球藩王として華族とする。	戸籍法を定める。 廃藩置県。 文部省設置。 琉球人54名、台湾に漂着し殺害される。		鳥羽・伏見の戦い、戊辰戦争起る。	ペリー、那覇で琉球と修好条約を締結。	アメリカ、東インド艦隊司令長官ペリー、琉球王朝から貯炭所建設の権利を獲得。			生まれる。						
46歳	45歳	44歳	42歳	28歳	27歳									
43歳	42歳	41歳	39歳	25歳	24歳	生まれる。								
3歳	2歳	10 / 10 生まれる。												

専用空手衣新登場!

常に妥協することなく新しい伝統を築きあげてきた『守礼堂』が、激しい運動にも柔軟に対応する新素材から生み出した、形、組手専用空手衣。軽く、しかも激しい動きに対応する芯の強い形専用空手衣「ニューウェーブ」あらゆる動きに対応する強度、伸縮性、軽さを備えた組手専用空手衣「フリーアクション」常に最高のパフォーマンスを引き出す空手衣です。

守礼堂 本社

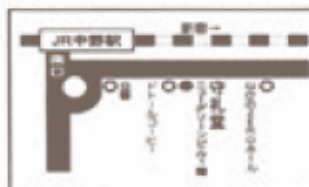
〒900-0012 沖縄県那覇市泊1丁目1番6号 TEL (098) 861-5621・FAX (098) 861-5525
FreeDial 0120-612341・FreeFax 0120-612342

関西 守礼堂

〒536-0008 大阪市城東区岡目2丁目12番36号 TEL (06) 6931-8864・FAX (06) 6931-8863

九州 守礼堂

〒890-0023 鹿児島市永吉町3丁目10番15号 TEL (099) 255-8471・FAX (099) 255-1547



守礼堂 東京支社

〒164-0001 東京都中野区中野2丁目23番1号
ニューグリーンビル1階103号
TEL (03) 5342-3051・FAX (03) 5342-3052
URL www.karatado.co.jp/shureido
e-mail shureido@orange.ocn.ne.jp
●営業時間 9:00~18:00 ●定休日 日曜・祝日

1884	1883	1880	1879	1877	1875	1874	1873	西暦
明治17	明治16	明治13	明治12	明治10	明治8	明治7	明治6	和暦
11/	5/	10/21 8/18	8/10 5/20 4/4 3/31	2/15	5/29	2/6	6/21 1/10	月/日
体操伝習所で、撃剣柔術の利害適否を調べた結果を文部省に答申する。	文部省、体操伝習所に撃剣柔術の利害調査を命ずる。	清国と琉球問題の交渉を開始。清国に琉球分割提議。清国、受諾せず。	琉球藩を廃止し沖縄県を置く。清国より抗議。天皇、米前大統領グラントと会見、琉球問題につき意見を交換。	西南戦争起る。首里城を接収。琉球藩を廃止し沖縄県を置く。清国より抗議。	琉球藩に清国への使節派遣、冊封などの廃止を命令。	閣議、琉球島民の殺害を理由に、台湾征討を決定。	徴兵令公布。清国、台湾生蕃は化外の民と説明。	一般史料
58歳	57歳	54歳	53歳	51歳	49歳	48歳	47歳	安里安恒
55歳	54歳	51歳	50歳	48歳	46歳	45歳	44歳	糸洲安恒
15歳	14歳	11歳 この頃より安里安恒に師事する。	10歳	8歳	6歳	5歳	4歳	富名腰義珍

(以下次号)

誤字訂正のお願い

前号、唐手の系譜の中で、次の誤字がありましたので、訂正をお願いします。

6行目 古城[×]誤
13行目 桑名[×]↓桑江[○]正

日本空手協会総本部指定

尚武オリジナル

「尚武」

袴式空手衣



山梨県山梨市上神内川402-1

有限会社 尚 武

〒405-0018

電話 (0553) 23-5320

FAX(0553) 23-5340

今こそ空手母国・日本の手で 真の武道空手を世界に示す時



社団法人 日本空手協会 会長 中原伸之

今、空手界の動きが大きく変わろうとしてきている。今年度からのWKF（世界空手連盟）新ルール改定に象徴されるように、世界の空手界の動きが次第にWKFを中心にした競技スポーツに偏っていきつつあるのである。世界の国の中にはWKFの方針に従うのを潔しとせず、脱退している団体も出てきているとも言われている。このような状況の中、われわれの空手が本来の武道空手から次第に乖離してきているという事を非常に痛感せずにはおれない。

その昔、日本空手協会の先達をはじめ、世界に空手を普及させようと海外へ赴いた日本の指導者たちは、真の武道としての空手を指導し、そしてそれを世界に普及させてきた。今こそ日本の指導者たちが中心となって、真の武道空手というものを再構築していかなければならないと感じるのは本誌だけではないだろう。何

故ならそうしなければスポーツ競技の空手があたかも主流の空手となり、ますます空手道から武道精神が失われていくことになるからである。

そろそろここらへんで、世界に散らばる日本の指導者の先生方とも大同団結をし、きちんとした真の武道空手を残すために、もう一度日本人の手で競技空手とは違う武道としての空手の再構築がなされないものだろうか。広く世界を見られている（社）日本空手協会の中原会長にお話をうかがった。

空手は本土にきてから 日本独特の土壌に溶け込んだ

そもそも空手というのは中国から沖縄を経由して日本本土に伝わってきたと言われており、大正11年頃に富名腰義珍先生が東京で初めて空手の演武したのが、

本土に近代空手が伝わってきた最初だと言われています。

富名腰先生はもともと教育者であり、本土では慶応義塾や東京大学など、大学生を中心に空手を教えました。沖縄では空手をみだりに人に教えるはならないとされていただけに、これは日本の空手にとって非常に幸いであり、それ以来、空手とは日本の君子の武道として発展していく事となるわけです。

例えば仏教はインドで生まれて中国や朝鮮半島を通じて日本に伝わり、日本独特の仏教になりました。もともと日本という国は平安時代の頃から、輸入された文化をすべて国風文化としてしまう国でした。空手というのも恐らくそれと同じようにインド・中国を経て沖縄で発達し、本土に伝わってきたから、伝統柔術の「拳法」・「蹴法」を含めた日本武道という土壌の上で日本独特の武道としての空手

道に育っていき、そして、その間、日本人の肌合わないものは除去されていったのだと思います。

空手の「から」の字も、当初は中国（唐）の手として「唐手」の字を使っていたのを、富名腰先生が仏教の言葉から引用した「空」の文字を用いて「空手」に改め、また形の「ナイファンチ」を「鉄騎」と改めたのもそのひとつと言えるでしょう。もともと日本の空手と沖縄の空手は育った土壌が違いますが、こうして沖縄の空手とは本土に伝わってから、日本本土に古くから伝わる武士道という長い伝統の中にうまく溶け込んでいったのではないのでしょうか。

ルールの中で優劣を競うスポーツと 境地を目指して人格を高める武道

武士道というのは、当然「礼に始まり礼に終わる」、「稽古の前後には黙想をする」、「両親に感謝する」、「先輩を敬い、後輩をかわいがる」、「国を愛する」そういった事が根本にあります。また、武士道では所属する集団に対する忠誠心を持つという事が必要とされますが、それだけではなく、個人が自立していなければなりません。福沢諭吉が言う所の独立自尊ですね。精神、肉体ともに自立しているというのがひとつ武道の中の倫理としてあり、「忠誠心」と「個人の自立」の両方を持ち合わせなければならな

いと言えるでしょう。武道とスポーツの違いを大まかに言わせてもらえば、スポーツ空手というのはメダル獲得のためにポイントを争う競技



伝統的な素手、素面の一本勝負で行われる日本空手協会の全国大会。

がまず先にあり、人為的に定められ、時々大幅に変更される「ルール」の中でのかにポイントを取るかというテクニクのために練習をするものです。武道の場合には「ポイント獲得」のためではなく、ここ一発の勝負に生死を賭ける決断をして、急所（ツボ）への一撃で相手を倒すという境地を目指して己の技を磨く、そしてその修行を通じて人格を高める事が目的であり、試合というのはその目的を達成するためのひとつの過程にすぎません。つまり組手競技、形競技という「競技」であるよりも、稽古の成果の「試し合い」なのです。

空手協会は、そういった意味で日本武道として「体重別階級」を設けない上での「一本勝負」という不変の勝負の鉄則を維持していきたいと思っています。従って「ルール設定」次第で試合のあり方が左右される事はありません。

武道空手の究極の理想は「勝負を争わずに、心を澄まし、胆を練り、自然の勝ちを要す」であります。言い換えれば、心境に曇りがなければ、構えずに、相手の心はもちろん、森羅万象が自分の心に自然に写る「水月の位」に到達する事があります。

また日本空手協会は富名腰義珍先生を初代の最高師範にお迎えし、中山正敏先生が次の首席師範となりました。その頃

から現在まで研修生制度という独自の制度を設け、その上に立って専門的な指導員稽古というのを行ってきましたが、その中で技術面で一番進歩したと思うのが「基本」なのです。

この日本空手協会独特の「基本」というものは、何十年にもわたる協会の指導員稽古から生まれたもので、立ち方ひとつとっても理論的に極められ、バランスが取れています。だから基本と形と組手が「三位一体」となりうるのです。基本を充分にやって次に形、そして組手となっていく。

また、「形」には勝負に関する多種多様な情報量が蓄積されており、勝負に伴う動き方のコツと「極め」を表現しています。

日本空手協会は、このような「形」を、日本文化の一大特色として重要視しています。

競技空手では、例えばヨーロッパ勢など影響力の強い関係者が、何らかの人工的な「ルール」を決定あるいは変更し、そのような「ルール」の中で勝利する事を最優先としますから、基本にかけると時間があれば競技で勝つノウハウを練習する事に時間を費やした方が合理的で、競技で勝つためには基本なんてなくてもいいと考えていても不思議

ではありません。

**日本の国民文化としての空手を
世界の人たちに再認識してもらう**

私は真の空手道を日本の武道としての空手として見直すために、伝統流派会派の垣根を越えた演武会を開催してみたいかどうかと思うのです。日本の伝統芸能である能楽を例にとると、能には流派が5流ありまして、かつてその5流が年に何回か、同じ場所で一堂に会し立ち合い演



今年の全国大会で行われた師範会の演武。形は特に重要視される。



未来の日本文化を担う少年たち。

それが世界に拡がれば、競技空手ではない、日本武道としての空手が再認識されると思うのです。こうした事は特に海外で指導に当たられている先生方の方が必要性を感じているのではないかと思います。大げさにいえば日本の国風文化としての空手がどういったものを再認識してもらうという事です。

それが今必要なのではないか、今が一番いい時期ではないかと思っているのです。空手の世界には偉大な先生方がたくさんいらっしゃるのに、私自身、そうした先生方の演武というものをあまり見た事がない。もう亡くなられた先生方も大勢

能を行っており、そこでは互いに流派の特徴を出し合い、互いのいい所を認め合うという事が行われていました。今でも立ち合い能は時々催されています。

それと同じように伝統空手の主だった流派が集まって「立ち合い空手演武会」というのを開催したらどうでしょうか。これは演武会であって競技会ではありません。各流派に時間を割り振って、その時間内にその流派のエッセンスをみんなに披露してもらいます。

それぞれの流派の特徴を出した「形」や「試割り」、「取り」など何でもけっこうです。まず日本の土壌に立った空手というのをみなさんに見てもらおうのです。われわれは自分の流派以外の伝統空手はあまり見る機会がありません。私自身、そうしたのを見たいという欲求を強く持っています。そして将来的には本場・沖縄の先生にも参加してもらおう事も考え、まず実行できる事から始めたいと思います。



インタビュアーを努めて頂いた北米師範会的小林浩康師範（左）。

いらつしゃるという事を考えると非常にもったいない事をしたと思います。これを機会として真の日本武道としての空手を全世界にアピールしていければと思います。

なお、誤解のないよう申し上げますが、空手を稽古する目的は、健康を保持する事、スポーツ空手競技に勝つ事、武道空手を修練する事など、人によってさまざまであり、特に優劣がつけられるものではありません。日本空手協会は、つらい武道稽古の先に見えてくる「道」「水月の位」「日本の霊性」を求めるものである事を申し上げたつもりであります。

最後に日本国政府、特に文部科学省及び外務省が日本発の国風文化としての武道空手の振興並びに世界的な普及に本腰を入れて下さる事を切に希望致します。

株式会社 福昌堂 「月刊 空手道」10月号より

転載させていただきました。

印刷ならなんでもご相談下さい

—— 情報のコミュニケーションパートナー ——



株式会社サンワ

〒102-0072 千代田区飯田橋2-11-8 サンワビル
TEL. 03-3265-1816 FAX. 03-3265-1847

暑さなんか突き飛ばせ！
 ぼくもわたしも最強ジュニア

第45回 小学生・中学生全国空手道選手権大会

平成14年8月3日(土)～4日(日) 幕張メッセイベントホール

連日1万人の選手&ファミリーが会場を埋めつくして
 空手道の明日を担う頼もしいJKAパワーを爆発

★一番がんばった宮城県が総合優勝

いい試合をした後のデイズニードを楽しみに、夏の暑さなかに負けない選手たちが、全国からたくさん集まりました。日本一の大会なので、1日目の開会式の様子はNHKのお昼のニュースで全国で紹介されました。また、優勝した選手の名前は読売新聞の全国版で毎日伝えられました。日本でいちばん強いジュニアをめざして……小学生も中学生も真剣に戦いました。お父さんもお母さんも、いっしょうけんめいに応援してくれました。その中で最もがんばった宮城県が、今年から新しく生まれた「総合優勝」に輝きました。

宮城県の選手たちの今大会の全成績

【団体戦】小学生低学年・形優勝／組手優勝

小学生高学年・組手優勝／形準優勝

中学生……形第3位

【個人戦】小学3年女子・組手準優勝

“男子・形準優勝／組手第3位

小学4年女子・組手優勝・準優勝・第3位(2名)／形準優勝

“男子・形準優勝／組手準優勝

小学5年女子・形準優勝／組手準優勝

“男子・組手第3位

小学6年男子・組手準優勝

中学1年男子・形第3位

中学2年女子・組手第3位

“男子・組手準優勝

中学3年女子・組手優勝

“男子・形優勝／組手3位

小学生・中学生
 全国空手道選手権大会



大会フोट・スナップ



▲小学生高学年団体組手・決勝戦



▲団体戦・小学生低学年・形



▲女子個人戦・中学3年生・組手・決勝戦



▲団体戦・中学生・組手



▲女子個人戦・小学6年生・組手・決勝



▲2男子個人戦・中学3年生・組手・決勝戦

2日目・個人戦ハイライト

【女子個人戦・小学6年生・形】

秋山未来さん(埼玉)が燕飛(えんぴ)で初優勝!

準優勝の椎名 優さん(千葉)と第3位の葛西由里加さん(青森)は、2人とも慈恩(じおん)での同点再試合で決まりました。

▼秋山未来さん

「燕飛は今年から練習をはじめました。優勝できてうれしいです!」



【女子個人戦・中学3年生・形】

椎名 舞さん(千葉)が慈恩(じおん)で優勝!

得点364で見事に決めました。準優勝は小野さやかさん(佐賀)、第3位には静岡 梓さん(福岡)が入りました。

▼椎名 舞さん

「4歳から、父について空手をやってます」



小学生・中学生
全国空手道選手権大会

【男子個人戦・小学6年生・形】

高山翔太君(三重)が抜塞大(ぼっさいだい)で優勝!

順位決定戦は大接戦。高山君は361で、わずかに0.1の差で抜け上がりました。準優勝の中村君(青森)と第3位の宗岡君(福岡)は、360の同点再試合で決めました。

▼高山翔太君・観空大



【男子個人戦・中学3年生・形】

伊藤辰朗君(宮城)が観空大(かんくうだい)で初優勝。

上位3人はともに観空大での戦い。伊藤君は361で最高得点。佐藤龍治君(神奈川)は359で準優勝。大谷勇輔君(長野)は357で第3位に入りました。

▼中学生の形の王者・伊藤辰朗君

「小1の時から空手をやってます。優勝はうれしいです」



【女子個人戦・小学6年生・組手】

椎名 優さん(千葉)が見事な初優勝

準決勝は、椎名VS仲山(茨城)と坂本(鳥取)VS川島(岐阜)の対決。決勝戦では、椎名さんが鋭い上段蹴りで坂本さんを圧倒して優勝をつかみました。

▼椎名 優さん

「優勝は初めてです。姉といっしょに父に習ってます。練習は大好きです!」



【女子個人戦・中学3年生・組手】

大森美和さん(宮城)がうれしい初優勝

決勝戦の相手は強敵の椎名 舞さん(千葉)。結果は椎名さんの鋭い上段突きが当たって反則となり、大森さんのしぶとい粘り勝ちとなりました。第3位は、菊地亜衣さん(茨城)と小野さやかさん(佐賀)でした。

▼大森美和さん

「初優勝です!小学2年生の時から空手をやってます。これからは、国体をめざしたいです」



【男子個人戦・小学6年生・組手】

宗岡大貴君(福岡)がうれしい初優勝

決勝戦で阿部裕介君(宮城)を突き破って快勝。白井宏弥君(静岡)と石井詳馬君(山梨)が、惜しくも3位となりました。

▼宗岡大貴君

「汗びっしょりになったが、優勝したからうれしい」



【男子個人戦・中学3年生・組手】

佐藤龍治君(神奈川)が堂々たる優勝

決勝戦の対戦相手は前田泰輔君(熊本)になりましたが……中学レベルとは思えない佐藤君の実力が勝って、またたく間の中段の蹴りで決着がつかしました。前田君も「もっこす魂」で立派に健闘しました。第3位は藤田君(茨城)と丹野君(宮城)でした。

▼中学最強の男・佐藤龍治君

「小学6年と中学1年の時にも優勝しました。世界一を目指したいです」



矢本支部（宮城）が慈恩（じおん）で優勝

▼矢本支部子ム

「幼稚園の時から
やってるよ」
渡辺裕也君
奥山太地君



【団体戦・小学生高学年・形】
三重県本部が抜塞大(ばっさいだい)で優勝

得点は37.1でした。準優勝は石巻中央支部（宮城）、3位は山形県本部。

金メダルの三重県
本部チーム
山口航平君（5年）
高山翔太君（6年）

「個人形では優勝したが団体ではじめて。きょう年は優勝をにがしたのでうれしい！」

伊藤晃寛君（6年）



【団体戦・中学生・形】
小城支部(佐賀)が観空大(かんくうだい)
で優勝

36歳で孝士館(千葉)に勝ち、昨年準優勝の雪辱を果たしました。修空館道場がガンバって3位に。

▼小城支部チーム
西 誠哉君（3年）
坂口恭平君（3年）

「1、2回戦より順位決定戦の方が良くできた。去年は2位で今年は1位だから、明日は幕張プリンスに泊まります」



【団体戦・小学生低学年・組手】
石巻中央支部（宮城）が優勝

3対0で大東支部（大阪）を破った。御殿場西支部は組手でも3位に入賞しました。

▼石卷中央支部★

先鋒・今野裕登君

中堅・阿部千玲さん

大將・金戸夕子さん
(4年)

「初優勝です。形で優勝したチーム（矢本支部）とは同じ地区で鍛えあっています」



【団体戦・小学生高学年・組手】
石巻中央支部（宮城）が優勝

石巻中央は強い！駿河支部・静岡にストレート勝ちして、低学年に続いて高学年でも優勝。3位は福源院道場（山梨）でした。

▼石巻中央支部・高学年チーム

先鋒・青木 翼君（6年）
中堅・阿部裕介君（6年）
大将・野村佳孝君（6年）

「先生のきびしい指導のおかげで、初優勝できました」

【団体戦・中学生・組手】

熊本県本部が優勝

中堅戦で1敗したが、大將戦の井立君が蹴りと突きで決着をつけて、三重県本部に勝ちました。3位入賞は孝士館(千葉)チームでした。

▼熊本県本部子1人

先鋒・岡田 亮吾

中堅・前田泰輔君

大將・井立千聡君
(3年)

「初優勝です！
うれしいです！」



どうも
ありがとう!!

玉名中学校3年の
本田春菜さんから
試合の感想文を頂
きました。

私の父、定孝の墓
云々中等校 二年
今春で最後。
何處この名が眼の中でこぼましたらうと
四月の地方を渡り、大会への出場権を手に入
してから、今日までの練習。暑い日、寒い日
と入ったやも流したやも、自分の不運で試合
こられ、試合前の不安のケガ。五ヶ所の怪我を
足腰に受ける。記念すべき東西十五回大会の
予選選手権大会へ、為、縣選手権びなつ。
八月二日、母と二人での出陣の日。年生
募集委員で応募に来たていふのを前に
かかし。東山雲手道場から私の傍にも、足元
中一年生の村上さんと小生のお賢さん二人
と中野先生夫婦が大会へ行くことになってい
る。大会会場は、千歳公園に置くことになり
た。会場が一瞬にして減り八雲橋に会ふ。勝負
の決まる日。

流りのある芝生道があふれかえつてゐた。
 斜中で静たなくてほろろなのひのひの(金魚
 の)遊ばまゐれた足とのあふれかゝる。こゝにい
 へんといつても自然にあふれ、空をよ上つて
 る。負けてたまふか(こゝにまで来たのはた
 半には負けてゐない。午後になり、いよいよ
 風が吹く。青づく。秒の飛車の速さだ。
 風に負ける一瞬さ。テロパイスをもつた。
 「お星さんお尻へお腰を落つていざし」
 「いざし」をいふた。自然もので思ふ

優勝祝賀会

やったぜ！ 神奈川

神奈川県本部・広報部長 本多 正昭



八月九日、平塚ブレイズ・高砂の間に於て、第四五回全国大会個人組手優勝の小林邦雄長津田支部長、都道府県対抗組手優勝の神奈川県本部、並びに第四五回全国小中大会中三組手優勝の佐藤龍治選手（戸塚）、小五型優勝の堀内麻子選手（戸塚）の祝賀会が、約四〇〇名の関係者が集い盛大に行われた。

特に、神奈川県本部（通称・神選組）の優勝は、四五年目にして初の快挙である。我々は、試合が空手道の全てと思うものではない。しかし、他県から「神奈川が一番弱い」と言われる前に、屈辱に歯を食いし

ばり、柏木本部長が好んで言われる「重くともこらえてまてや笹の雪」の句を思いだし耐えて来た。

「柏木本部長を男にするぞ！」を合言葉に、熱血漢・山崎力監督（横須賀支部長）を中心に、夢を追いかける五ヶ年計画の強化練習を開始して、早くも二年目にして、見事悲願を達成した。我々は、これを応援して来た我々全ての優勝であると感じ、誇りに思っている。そして、神選組に、周囲の雑音に耳を貸さず、己の弱気な心にも負けず、己を信じてやってみるものだ」と教えられた気がしている。



ステージに立った選手・関係者からは、口々に、「毎年、この祝賀会をやりたい!!」「未来永劫、優勝を続けて戴きたい!!」等の声が挙がった。続いて来賓の瀧澤敬介東京本部長がマイクを持たれた。

「柏木本部長に男惚れして、毎年、県大会の応援をしてきた私としては、こんなに早く結果を出してくれて嬉しいのです。しかし、東京本部長としては、先程からの発言は聞き捨てなりません！何を!!そうはさせるか!!との気持ちで一杯です。これからお互いに切磋琢磨して行きましょう!!」

これは、日本全国の全ての協会同志への呼びかけであろう。

神奈川県本部万歳!!日本空手協会三万歳!!

URL
www.karategi-hirota.co.jp



日本空手協会



J. K. A

空手衣のヒロタ

HIROTA

MADE IN JAPAN
COTTON 100%

好評 別注空手衣

全日本・大学・高校・中学・各流派会派

組手用【薄】ピナック 形用【厚】# 163

空手衣の HIROTA

■ 本社
〒144-0052
東京都大田区蒲田5丁目33-6
NSビル1F
TEL(03)3730-5366
FAX(03)3730-5336

■ 福岡支店
〒812-0018
福岡市博多区住吉4丁目2-15
住西ビル
TEL(092)475-1810
FAX(092)475-1817

■ 愛知支店
〒445-0802
愛知県西尾市米津町蒲台
16-3
TEL(0563)54-3600
FAX(0563)54-3600



福岡県前本部長阪井龍介先生の勇退の 慰労会が盛大に開催される

福岡県本部広報担当 鶴田 敏昭



平成14年6月16日（日曜日）、福岡市内の福岡リーセントホテルにおいて、前福岡県本部長阪井龍介先生の勇退慰労会が200名を超える参加者が集い盛大に開催されました。

千伊勢は、福岡県本部の第2代本部長として、社団法人日本空手協会の分裂時の危機を卓越した指導力と



並はずれた人格により見事に乗り切れ、この県本部にも負けない一枚岩の強固な集団の県本部を作り上げられました。又県本部の発足時には、分裂の事情により財政的に逼迫し、運営もままならない状態を自ら浄財を投じられ強固な基盤創りに貢献されました。このように長い間の物心両面にわたる先生の援助と功績に対して県本部の役員をはじめ、関係する全ての会員は感謝の気持ちを持ち続けることは勿論ですが、先生のこうした功績の陰にご家族の皆様のご理解とご協力があったということも忘れてはならない大切なことだと思ひます。

このかたちで先生のご功績に報いたいということから、今回の慰労会が企画されたしいです。さて、慰労会は13時に始まり16時過ぎに終わりましたが、3時間を超える長時間にもかかわらず、大変短く感じられ、途中で席を外す人は勿論、慰労会終了後も阪井先生と少しでも長く一緒に居たいという人が大勢いて、開場の福岡リーセントホテルに迷惑がかかるほどでした。会の内容につきましては、福岡県内各地区6名の代表による先生との出会い、功績、エピソードや選手時代の卓越した技量等が話され、参加者一同は和気藹々のなかにも熱心に聞き入っておりまして。そして、一人の話が終わる度に、拍手喝采が起きたのは言うまでもありません。その後、歌やにわか等飛び入り自由で自慢の芸が披露されました。最後に、

で大盛会でした。後を託された福岡県本部役員をはじめ会員一人一人が、先生が築かれた基礎をさらに発展充実させ、日本一の県本部になるよう一致協力していくことが、先生のご苦勞に報いることであることを肝に命じておくことが大切であろうと思ひます。千伊勢が、今後益々ご健勝にてご活躍されることを福岡県本部の関係者一同心からお祈りしていることを申し添え、文の終わりとさせていただきます。



このように多くの会員の気持ち、何らか

阪井龍介先生から感謝とお礼のご挨拶があり、博多における慶事の終わりに必ず歌われる祝いで三ばんで、会が締めくくられました。会は、阪井先生の人柄を慕う人達の集まり

空手道に関する商品を

全国ネットでスピード配送致します。

空手衣の
YAMAGA

株式会社 山 雅

〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町17-14 福川ビル
TEL. 06-6768-2340(代) FAX. 06-6768-2351

●小学3年「男」個人 形……1位 大川 剛(千葉) 2位 木口 隆清(山梨) 3位 持田龍之介(山梨) 組手……1位 持田龍之介(山梨) 2位 大川 剛(千葉) 3位 成澤 政希(千葉) 3位 佐久間大知(千葉) ●小学4年「男」個人 形……1位 藤江 祥史(山梨) 2位 四元 敬一(神奈川) 3位 渡辺 和貴(山梨) 組手……1位 石原龍太郎(群馬) 2位 東 翔平(千葉) 3位 三浦 昇平(三多摩) 3位 佐藤 春樹(山梨) ●小学5年「男」個人 形……1位 青木 渉(埼玉) 2位 原田 龍(群馬) 3位 知見 和馬(山梨) 組手……1位 原田 龍(群馬) 2位 遠藤 太尊(千葉) 3位 鈴木 優太(千葉) 3位 知見 和馬(山梨) ●小学6年「男」個人 形……1位 加藤 広太(三多摩) 2位 尾崎 功(千葉) 3位 市村 明浩(茨城) 組手……1位 石井 詳馬(山梨) 2位 五十嵐達郎(埼玉) 3位 長谷川峻士(千葉) 3位 菅原 巧(神奈川) ●中学1年「男」個人 形……1位 面 壮彦(東京) 2位 川島 興介(東京) 3位 深山 勇輝(千葉) 組手……1位 鈴木 崇仁(茨城) 2位 坪松 悟史(茨城) 3位 中山 士(茨城) 3位 野上 祐喜(茨城) ●中学2年「男」個人 形……1位 深谷 明輝(茨城) 2位 西村 信平(埼玉) 3位 赤澤 世紀(千葉) 組手……1位 白井 一輝(千葉) 2位 志村 昌俊(山梨) 3位 西村 信平(埼玉) 3位 花井 智茂(三多摩) ●中学3年「男」個人 形……1位 竹之内常滋(千葉) 2位 土屋 敦嗣(千葉) 3位 上条 誠(神奈川) 組手……1位 佐藤 龍治(神奈川)	2位 淡川 瑛大(群馬) 3位 今関 洋和(千葉) 3位 萩原真太郎(茨城) ●高校「男」個人 形……1位 城田 國士(山梨) 2位 荒木ゆう太(群馬) 3位 高橋 一磨(埼玉) 組手……1位 草野 竜太(茨城) 2位 谷口 龍太郎(埼玉) 3位 井沢 仁志(神奈川) 3位 岡田 泰典(茨城) ●一般「男」個人 形……1位 栗原 一晃(茨城) 2位 大石 勝美(千葉) 3位 金井 耕司(埼玉) 組手……1位 根本 敬介(千葉) 2位 鈴木 純史(千葉) 3位 瀬戸 秀朗(神奈川) 3位 栗原 一晃(茨城)	●小学3年「女」個人 形……1位 中 晴香(東京) 2位 岩田 真央(栃木) 3位 高橋 千絵(埼玉) 組手……1位 中 晴香(東京) 2位 町田 千葵(栃木) 3位 福田 智未(栃木) 3位 小松崎真優(栃木) ●小学4年「女」個人 形……1位 豊田 茜(神奈川) 2位 堀川 彩翔(千葉) 3位 高部 梓(山梨) 組手……1位 豊田 茜(神奈川) 2位 岩田 綾子(茨城) 3位 高部 梓(山梨) 3位 山口 貴子(茨城) ●小学5年「女」個人 形……1位 古屋成美子(山梨) 2位 高橋 真澄(群馬) 3位 吉原 七美(山梨) 組手……1位 高橋 真澄(群馬) 2位 鹿島 葵(千葉) 3位 松本奈那子(千葉) 3位 古屋成美子(山梨) ●小学6年「女」個人 形……1位 秋山 未来(埼玉) 2位 松本 知佳(神奈川) 3位 新田見真也(栃木) 組手……1位 松本 知佳(神奈川) 2位 椎名 優(千葉) 3位 高部 歩美(山梨)	3位 大川妙由里(千葉) ●中学1年「女」個人 形……1位 深作世里乃(茨城) 2位 鹿島 千尋(千葉) 3位 矢口由香梨(茨城) 組手……1位 渡辺 唯子(茨城) 2位 豊嶋 詩穂(茨城) 3位 富池明日香(千葉) 3位 小野塚 香(茨城) ●中学2年「女」個人 形……1位 吉原 百香(山梨) 2位 日橋 友美(三多摩) 3位 古屋 智美(山梨) 組手……1位 渡辺 唯子(茨城) 2位 豊嶋 詩穂(茨城) 3位 富池明日香(千葉) 3位 小野塚 香(茨城) ●中学3年「女」個人 形……1位 長岡 聡美(栃木) 2位 椎名 舞(千葉) 3位 高橋 沙織(群馬) 組手……1位 内藤 五月(茨城) 2位 椎名 舞(千葉) 3位 芦沢 春菜(山梨) 3位 内藤 五月(茨城) ●高校「女」個人 形……1位 栗原 有紀(茨城) 2位 篠原 歩(山梨) 3位 大越 麻衣(茨城) 組手……1位 渡辺 萌子(茨城) 2位 小野由佳里(茨城) 3位 南雲 瑞月(群馬) 3位 栗原 有紀(茨城) ●一般「女」個人 形……1位 城田 貴樹(山梨) 2位 新垣美紗子(東京) 3位 東 千春(神奈川) 組手……1位 新垣美紗子(東京) 2位 金子 真弓(群馬) 3位 塚本めぐみ(三多摩) 3位 東 千春(神奈川) ●一般「団体」 形……1位 東京都 2位 群馬県 組手……1位 千葉県 2位 神奈川県 3位 埼玉県
--	--	---	--

昇段審査合格者 *3段以上

七段

渡辺邦義 (静岡)	米良順一 (栃木)	GNEO SERGIO (ベルギー)	佐伯義治 (福岡)	伊奈信一 (青学OB)	小島弘巳 (大阪)
柏木 清	甲地伯吏 (静岡)		瀬瀬 治 (大分)	藤井利夫 (駒大OB)	橋口優次 (福岡)
青木 修 (スペイン)	■橋 岡 (アメリカ)		武石 廣 (大分)	■橋邦也 (OB会)	相原智之 (大阪)

5段

相良孝作 (秋田)	藤野雅法 (福岡)	福田秀峰 (東京)	高橋壽男 (宮城)	伊奈信一 (青学OB)	BOONS WILLIAM (ベルギー)
小嶋 拓 (秋田)	平林文正 (福岡)	上條 定 (長野)	野口一二 (茨城)	小山渡志雄 (騎大)	HANSEN KENNETH (デンマーク)
千々峰正義 (茨城)	山本 淳 (福岡)	GLYN MORGAN (イギリス)	金田雄次 (愛知)	澤澤 正 (騎大)	MARIC ZVONKO (デンマーク)
吉田 清 (茨城)	清家 修 (大分)	GORGE NOCEDA MORE (メキシコ)	森川智之 (東京)	百枝木範 (騎大)	FEJERSEN PETER SOMMER (デンマーク)
池田和男 (茨城)	佐々木修三 (茨城)	岡田常由 (岡山)	江口武郎 (長野)	塚本丈昭 (騎大)	POULSEN SOREN KNOP (デンマーク)
南雲秋生 (東京)	高橋光夫 (宮城)	松井 久 (岡山)	竹下正見 (福岡)	佐藤敏之進 (工学院)	STEINBERGER WLOFGANG (デンマーク)
堀田廣嗣 (東京)	大石武志 (宮城)	松尾 悟 (熊本)	上正正美 (埼玉)	稲宮吉之 (千工)	ANWAR BECK (インドネシア)
末吉伊佐夫 (東京)	鈴木佑介 (宮城)	今 司 (青森)	能登谷義伸 (秋田)	浦陀從道 (騎大)	
安部敏勝 (福岡)	笠原雅志 (高知)	小林嘉宏 (新潟)	竹内鉄夫 (OB会)	上川台吉 (千工)	

4段

梶 勝弘 (香川)	田名達明治 (愛知)	石川光雄 (OB会)	山本 敦 (総本部)	深澤 正 (OB会)	竹内鉄夫 (巨大園)
古弘幸三 (福岡)	大久保三男 (茨城)	渡辺静雄 (OB会)	柴田昌利 (兵庫)	百枝末憲 (OB会)	寺内康夫 (京都)
古川輝和 (福岡)	戸村光晴 (長崎)	小林洋征 (OB会)	小林尚樹 (長崎)	塚本丈昭 (OB会)	
岩村隆昌 (福岡)	鈴木誠一郎 (茨城)	山上昭彦 (OB会)	三枝利三 (長野)	佐藤紘之進 (OB会)	
鹽口喜三郎 (福岡)	岩崎智實 (昭泰大OB)	溝辺芳和 (OB会)	鈴木基夫 (長野)	稲富吉之 (OB会)	
山口高史 (福岡)	石井政広 (OB会)	宮田益治 (千葉)	渡辺浩志 (大阪)	補陀徒道 (OB会)	
藤山朝弘 (東京)	菅原 武 (OB会)	DAN COOK (総本部)	小山渡志雄 (OB会)	竹下正見 (福岡)	

3段

鈴木啓允 (愛知)	真部利勝 (愛媛)	鈴木勝巳 (東京)	甘利千賀子 (長野)	百瀬 巧 (OB会)	小林尚樹 (長野)
佐藤真奈美 (大分)	川村 正 (宮城)	中井雄二 (愛知)	川島直道 (埼玉)	淵 敏夫 (OB会)	下澤樹理 (長野)
小林伸夫 (石川)	阿部里香 (宮城)	小嶋健哉 (愛知)	大橋広志 (埼玉)	鈴木伸一 (OB会)	石川芳浩 (埼玉)
米良寿一 (栃木)	石崎典子 (茨城)	川内昭人 (愛知)	都築幹生 (大阪)	四井善人 (OB会)	山本久美夫 (大阪)
渡辺貴幸 (神奈川)	関口博文 (茨城)	須崎 明 (愛知)	伴仲裕喜 (大阪)	大橋慎郎 (OB会)	小山渡志雄 (OB会)
伊能秀忠 (千葉)	久保政實 (福岡)	竹内康人 (愛知)	古谷格一 (茨城)	野口嘉典 (OB会)	深澤 正 (OB会)
五味信吾 (千葉)	廣田正道 (福岡)	田辺達明治 (愛知)	高野 衛 (茨城)	佐藤昌志 (OB会)	百枝末昭 (OB会)
大板勝彦 (千葉)	山口裕之 (福岡)	工藤倫子 (大分)	坂本和男 (茨城)	石井政広 (OB会)	塚本玄範 (OB会)
志賀龍二 (千葉)	木村佳代 (福岡)	中島曉峰 (福岡)	山内誠之 (鳥取)	宮田益治 (千葉)	佐藤龍之進 (OB会)
赤松 徹 (千葉)	合野麻里子 (福岡)	藤山朝弘 (東京)	森田力夫 (大阪)	村田健樹 (長野)	竹下森仁 (OB会)
榎本 裕 (千葉)	二宮芳男 (福岡)	佐藤主悟 (秋田)	月村 仁 (昭泰大OB)	丸山博樹 (長野)	寺平 潔 (OB会)
塚本英造 (千葉)	根上俊生 (文徳会)	越後谷利朗 (秋田)	酒井恒一 (昭泰大OB)	河野 剛 (兵庫)	荒木健次郎 (東京)
谷本俊彦 (高知)	石川操子 (東京)	日高龍一郎 (秋田)	川口雄大 (OB会)	柴田昌利 (兵庫)	伊東輝親 (山梨)

会員募集ポスターのお知らせ



この度広報部におきまして「協会パンフレット」に
続き「会員募集ポスター」を作成致しました。
各支部、団体において会員募集に使用すると共に
(社)日本空手協会の名を広める為にも活用下さい。
ポスター下の空欄には支部名、稽古日、時間、
連絡先などを記入して下さい。

●販売価格 1,500円(20枚1セット、送料込)
お申し込み (社)日本空手協会広報部 担当 大隅まで
現金書留にてお願いします。

※パンフレットは無料配布します。

研修生募集案内

平成15年度新研修生募集

●国内外に優秀な指導員を輩出してきた(社)日本空手協会独自の研修生制度。
平成15年度研修生を募集致します。詳細は以下の通りです。

1 研修生受検資格

- ①武段以上の者又はそれに準ずる者
- ②大学(4年制)卒業又は卒業見込みの者
- ③高校及び短大卒業又は、卒業見込みの者

2 研修生の種別及び期間

- ①専任研修生
 - ・2ヶ年の研修期間とする。
 - ・月曜日から金曜日までの午前9時30分より午後3時まで勤務。
 - ・月曜日から金曜日までの指導員稽古(12:00~13:30)に参加する。
 - ・毎月、所定の研究課題について論文を提出する。
 - ・指導、審査、審判の研修をする。
 - ・特別行事の催しの参加
- ②兼任研修生
 - ・3ヶ年の研修期間とする。
 - ・月曜日から金曜日までの午前11時00分より午

後2時まで勤務。

- ・原則として、月曜日から金曜日までの指導員稽古(12:00~13:30)に参加する。
- ・毎月、所定の研究課題について論文を提出する。
- ・指導、審査、審判の研修をする。
- ・特別行事の催しの参加

3 給与

- ①専任研修生
 - ・大学卒(4年生) 15万円
 - ・短大卒及び高卒 13万円
 - ・年2回賞与支給
 - ・交通費支給
- ②兼任研修生
 - ・5万円支給
 - ・年2回賞与支給
 - ・交通費支給

4 試験科目

- ①基本
- ②自由組手
- ③得意形
- ④筆記試験

5 提出書類(提出日平成15年1月15日必着)

- ①卒業見込書
- ②成績証明書
- ③保護者の承諾書
- ④健康診断書
- ⑤履歴書

6 試験日

平成15年2月1日(土)午前10時

7 その他

要面談



親 日本空手協会

〒112-0004 東京都文京区後楽2-23-15
TEL.03-5800-3091 FAX.03-5800-3100
<http://www.jka.or.jp>

〈投稿歓迎〉

全国の会員の皆様の投稿をお待ちしています。支部・道場の行事の様態などの「原稿・写真」をお気軽に郵送ください。投稿原稿は800字以内。ワープロ、パソコン(FD)、原稿用紙でお願いします。なお投稿いただいた原稿等は原則として返却いたしませんのでご注意ください。ホームページ、電子メールもご利用ください。詳細はお問い合わせください。

●宛先 〒112-0004 東京都文京区後楽2-23-15
日本空手協会総本部「JKAニュース」係
TEL.03-5800-3091(担当・中)

●ホームページ <http://www.jka.or.jp> ●電子メール shonbu@jka.or.jp

〈各地区編集委員〉

北海道地区	初谷貞幸	TEL/FAX 011-833-1183
東北地区	佐藤龍男	TEL/FAX 022-285-3209
関東地区	瀬戸雄介	TEL 03-3714-6469 FAX 03-3714-4093
北信越地区	大日方俊夫	TEL 026-244-3659 036-234-5964 FAX 026-344-4170
東海地区	池山正仁	TEL 052-351-7300 FAX 052-355-3557
近畿地区	小島弘己	TEL/FAX 0730-75-0295
九州地区	鶴田敏昭	TEL 092-661-0500 FAX 092-661-0504

〈次号「2003年春号」は2月発行の予定です〉